

名古屋工業大学  
Nagoya Institute of Technology

# 後援会だより

発行年月日 平成29年(2017年)2月

編集・発行 名古屋工業大学後援会



# 目次

## CONTENTS

・学長あいさつ	1
・後援会会長あいさつ	2
・平成28年度後援会役員名簿	2
・平成27年度収支決算	3
・平成28年度収支予算	4
・後援会会則	5
・学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針	6
・医療援助・見舞金支出基準	6
・平成28年度後援会定期総会での大学の現状報告	7～9
・後援会による各種支援事業の報告	10・11
・第54回工大祭の報告	12
・学生生活課奨学支援係から	13
・平成27年度卒業・修了者に関する進路(進学・就職)状況	14・15
・平成28年度就職・キャリア形成事業	16・17
・名古屋工業大学後援会のご案内	18

### ■ 表紙写真

新講堂「NITech Hall (ナITEックホール) 完成

創立111周年を機に、かねてより建設を進めていた新講堂「NITech Hall」が完成し、平成28年9月9日(金)に竣工式典を開催した。

新講堂の特徴は2階建て総床面積約1670㎡、1階には426名収容のホール、2階にはラーニングcommonsを配置し、アクティブラーニングなどの工学教育の現代化に対応するため、学生同士が議論をしながら共に学ぶことができる快適な学修環境を整備している。

## 学長あいさつ

# たゆまない“チャレンジ”2017

名古屋工業大学長

鵜飼 裕之



後援会の皆様には、日頃から本学の教育研究活動へのご理解と、課外活動、キャリア支援、福利厚生など学生生活に関わる事業へのご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

名工大生は、日々の勉学と共に課外活動にも積極的に参加し、元気にキャンパスライフを送っています。2017年も名工大らしい技術力を活かした目覚ましい活躍に期待が膨らみます。なかでもソーラーカー部は、2015年、初出場初走破したワールドソーラーチャレンジに、今年10月、最先端の技術を搭載したソーラーカーで参戦して上位入賞を目指します。また昨年は、柔道部、日本拳法部、ヨット部をはじめとする運動部が輝かしい成績を収め、今年はさらなる高みへ弾みをつけています。とくにアメフト部は22年ぶりの1部リーグへの昇格を果たし、文武両道、名工大のポテンシャルをますます引き上げてきています。

産学連携においても、学生の独創性を活かし育むチャレンジが行われています。インターンシップを通じて地元企業の技術者と互いに学び合い、既存製品のブラッシュアップや新製品の開発に携わっています。なかでもベンチャー企業の新オフィスを、学生が内装提案から施工まで手がけるという新たなプロジェクトにもチャレンジし成果を上げています。これからも、こうした意欲的な活動とその成長を積極的に後押ししてまいります。

就職活動においては、名工大の学部生・大学院生に対する企業からの評価は極めて高く、さらに昨年より学生と企業とのマッチングをはかるように推薦方式を見直し、ほとんどの学生が希望通りの内定をもらうことができいております。

名工大の新しい姿をめざして取り組んできた教育改革が、いままさに動き始めています。グローバル人材の育成にも拍車をかけ、将来どんな会社・業界でも通用する高い志と目的意識を持った人材育成、エリート工学教育をこれからも推し進めてまいります。2017年、名古屋工業大学はこれまで以上に伝統と誇りを尊びつつ、常に時代の先端を読み取り、社会のニーズを取り入れた、魅力的で個性溢れる大学をめざします。

名古屋工業大学は、学生がより生き活きと、より充実した生活を送ることのできるキャンパスを全力で整えてまいります。後援会の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 後援会長あいさつ

## 後援会会員の皆様へ

名古屋工業大学後援会長

原田 満



拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は名古屋工業大学後援会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年度後援会定期総会を、8 月 1 日（月）に開催いたしました。前年度決算、本年度予算等議事につきまして資料のとおりご承認を得ましたので、ここにご報告申し上げますとともに、多くの会員の皆様方のご参加にお礼申し上げます。

本後援会は、「名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助すること」を目的に昭和 36 年に発足し、50 年を超える歴史を重ねてまいりました。この間、会員の皆様方から拠出いただきました資金をもとに、学部学生及び院生の課外活動（部活動や工大祭など）や厚生福祉、就職活動への援助、そして学資融資や災害援助時の特別基金の積立など多彩な活動資金として運用させていただきました。それにより、学生たちの勉学や課外活動に多大な成果をあげることができたものと思っております。これもひとえに会員の皆様方のご支援の賜物であり、さらには本学教職員の皆様方による熱心なご指導及び充実した教育研究環境の整備の賜物と、敬意を表する次第です。

今後も学生へのより良い支援をめざし、進んでまいりたいと考えておりますので、ご意見等ございましたらお寄せください。皆様からのなお一層のご協力をお願いいたします。

敬具

## 平成 28 年度 後援会役員名簿

役名	氏名	所属学科等
顧問	鵜飼 裕之	学長
//	内匠 逸	理事
会長	原田 満	第一部電気電子工学科3年
副会長	藤高 裕美	第一部機械工学科2年
//	阿部まゆみ	大学院博士前期課程機能工学専攻2年
常任幹事	大川原 肇	第一部環境材料工学科4年
//	川澄 堅司	第一部社会工学科1年
//	犬塚 信博	副学長
//	磯部 剛利	事務局次長
//	福本 英基	学生生活課長
幹事	住田 敏彦	第一部生命・物質工学科4年
//	富田 聡	第一部生命・物質工学科4年
//	森 清宝	第一部環境材料工学科4年
//	権田 隆司	第一部電気電子工学科4年
//	美濃島周生	第一部電気電子工学科4年
//	本山 美恵	第一部電気電子工学科4年
//	河田 崇	第一部建築・デザイン工学科4年
//	根尾 文彦	第一部建築・デザイン工学科4年
//	浅野 香子	第一部都市社会工学科4年

役名	氏名	所属学科等
//	大前 文哉	第一部生命・物質工学科3年
//	飯濱 雅則	第一部環境材料工学科3年
//	小濱 安浩	第一部機械工学科3年
//	吉田 義広	第一部機械工学科3年
//	小林 直之	第一部情報工学科3年
//	木村 愛恵	第一部都市社会工学科3年
//	松田 良雄	第一部都市社会工学科3年
//	戸田いと子	第一部情報工学科2年
//	中島 浩喜	第一部電気・機械工学科1年
//	村松 篤子	第一部電気・機械工学科1年
//	大平原由美子	第一部情報工学科1年
//	百合草和善	第一部社会工学科1年
//	前田 裕子	大学院博士前期課程情報工学専攻2年
//	岡本 啓嗣	大学院博士前期課程社会工学専攻2年
//	小山田 啓	大学院博士前期課程物理学専攻1年
//	村田 智子	大学院博士前期課程電気・機械工学専攻1年
監事	長瀬 智子	大学院博士前期課程生命・応用化学専攻1年
//	三田 晴伸	学務課長

（※太字は新役員を示す）

## 平成27年度収支決算

平成28年8月1日開催の定期総会において承認を得ましたので、お知らせします。

### 平成27年度後援会[一般会計] 収支決算書

●**総括** 収入総額 23,015,970円① 支出総額 13,951,056円② 差引残高 9,064,914円 (①-②)

#### ●収入の部

(単位：円)

項 目		27年度予算	決 算	比 較 増 減	備 考
前	年 度 繰 越 金	8,053,266	8,053,266	0	
会 費	大 学 院	2,150,000	2,185,000	35,000	<27年度加入者> ・大学院 437名 ・第一部 899名(うち編入15名) ・第二部 21名
	第 一 部	13,601,000	12,481,000	▲ 1,120,000	
	第 二 部	350,000	294,000	▲ 56,000	
	計	16,101,000	14,960,000	▲ 1,141,000	
預	金 利 息	3,000	2,704	▲ 296	
合	計	24,157,266	① 23,015,970	▲ 1,141,296	

#### ●支出の部

運 営 費	会 議 費	110,000	81,378	28,622	
	後援会職員給与	950,000	894,340	55,660	
	運 営 事 務 費	1,700,000	1,804,139	▲ 104,139	
	計	2,760,000	2,779,857	▲ 19,857	
学 生 生 活 事 業 費	学 科 交 流 会 費	3,000,000	2,926,600	73,400	
	工大祭等援助費	1,000,000	1,000,000	0	
	学生生活援助費	30,000	0	30,000	
	課外活動援助費	3,600,000	3,661,700	▲ 61,700	
	課外教育援助費	800,000	777,869	22,131	
	就職・キャリア援助費	3,600,000	2,723,260	876,740	
	医療援助・見舞金	100,000	81,770	18,230	
計	12,130,000	11,171,199	958,801		
予	備 費	9,267,266	0	9,267,266	
合	計	24,157,266	② 13,951,056	10,206,210	

### 平成27年度学生対策・援助基金[特別会計] 収支決算書

●**総括** 収入総額 6,691,372円  
支出総額 564,378円  
差引残高 6,126,994円

#### ●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	6,509,273
貸与者からの返済金	180,850
預 金 利 息	1,249
合 計	6,691,372

#### ●支出の部

(単位：円)

科 目	金 額
新 規 融 資 金	564,000
運営費(振込手数料)	378
合 計	564,378

### 平成27年度災害救助対策特別基金[特別会計] 収支決算書

●**総括** 収入総額 10,079,333円  
支出総額 0円  
差引残高 10,079,333円

#### ●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	10,077,340
一般会計からの繰入金	0
預 金 利 息	1,993
合 計	10,079,333

#### ●支出の部

(単位：円)

科 目	金 額
災 害 助 成 金	0
合 計	0

## 平成28年度収支予算

平成28年8月1日開催の定期総会において承認を得ましたので、お知らせします。

### 平成28年度後援会[一般会計]収支予算

#### ●収入の部

(単位：円)

項 目	28年度予算	27年度決算	比較増減	備 考	
前 年 度 繰 越 金	9,064,914	8,053,266	1,011,648		
会 費	大 学 院	2,995,000	2,185,000	810,000	年度当初の額 15,132,000円 第一部 862名(編入19名含む) 第二部 18名 博士前期 578名 博士後期 11名
	第 一 部	13,405,000	12,481,000	924,000	
	第 二 部	322,000	294,000	28,000	
	小 計	16,722,000	14,960,000	1,762,000	
預 金 利 息	3,000	2,704	296		
合 計	25,789,914	23,015,970	2,773,944		

#### ●支出の部

運 営 費	会 議 費	100,000	81,378	18,622	総会、役員会開催に係る経費
	後援会職員給与	900,000	894,340	5,660	
	運 営 事 務 費	2,000,000	1,804,139	195,861	後援会だより作成費用、郵送費
	小 計	3,000,000	2,779,857	220,143	
学 生 生 活 事 業 費	学 科 交 流 会 費	1,750,000	2,926,600	▲ 1,176,600	・新入生の交流に係る経費 ・H29年度分
	工 大 祭 援 助 費	1,200,000	1,000,000	200,000	工大祭の企画に係る経費
	学 生 生 活 援 助 費	30,000	0	30,000	
	課 外 活 動 援 助 費	3,700,000	3,661,700	38,300	課外活動に係る旅費等
	課 外 教 育 援 助 費	800,000	777,869	22,131	学生表彰に係る経費等
	就 職 ・ キ ャ リ ア 援 助 費	4,500,000	2,723,260	1,776,740	・TOEIC受験料援助 ・就職対策講座 ・TOEIC受験対策講座
	医 療 援 助 ・ 見 舞 金	100,000	81,770	18,230	
小 計	12,080,000	11,171,199	908,801		
「学生対策・援助基金」繰入金	2,000,000	0	2,000,000		
予 備 費	8,709,914	9,064,914	▲ 355,000		
合 計	25,789,914	23,015,970	2,773,944		

### 平成28年度学生対策・援助基金[特別会計]予算

#### ●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	6,126,994
貸与者からの返済金	473,000
「一般会計」からの繰入金	2,000,000
預 金 利 息	1,300
合 計	8,601,294

### 平成28年度災害救助対策特別基金[特別会計]予算

#### ●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	10,079,333
預 金 利 息	2,000
合 計	10,081,333

## 後援会会則

(平成25年7月31日総会承認)

第1条 本会は、名古屋工業大学後援会と称する。

第2条 本会の事務所は名古屋工業大学(以下「名工大」という。)内に置き、後援会職員が主にその業務を行う。

第3条 本会は名工大の教育に協力し、学生生活向上のために大学と連携して学生を援助することを目的とする。

第4条 本会は名工大の正規の学生の父母等(保護者)をもって会員とする。

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名
副 会 長	2名
幹 事	25名
常任幹事	5名
監 事	2名
顧 問	2名

第6条 会長、副会長、幹事及び監事の選出は、常任幹事が原案を作成し役員会の承認を受け、総会で決定する。

2 顧問は名工大学長、理事の中から1名を委嘱する。

3 常任幹事のうち3名は、名工大副学長、事務局次長及び学生生活課長を委嘱する。

4 監事のうち1名は、名工大学務課長を委嘱する。

第7条 会長は、会務を総理し本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の委嘱を受けて会務を行う。

4 常任幹事は、会長の委嘱を受けて会務の連絡と推進にあたる。

5 監事は、会長の委嘱を受けて会計を監査する。

第8条 役員任期は1年とする。但し再任を妨げない。

第9条 定期総会は毎年1回7月末までに会長が招集し、役員承認、事業及び会計報告を行い、その他会の重要事項等を議決する。

2 臨時総会は必要に応じ会長が招集する。

3 役員会は必要あるとき会長がこれを招集し会務を行う。

第10条 本会の経費は会費をもってこれに充てる。会費は学部14,000円(第3年次編入学者は、7,000円)、大学院5,000円とし、入会時に一括してこれを納入する。

2 大学院博士前期課程での会費は、在学期間が連続している場合に限り、博士後期課程ではこれを徴収しない。

第11条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第12条 本会の総会には役員会の承認があれば、学生代表を出席させることができる。

附 則

この会則は、昭和36年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成25年8月1日から施行する。

## 学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針

(平成23年7月15日定期総会決定)

名古屋工業大学後援会(以下「本会」という。)[「学生対策・援助基金」]の運用については次のとおりとする。

### I 目的

「学生対策・援助基金」は、名古屋工業大学の学生で、経済的理由により学費の納入が困難な者に対し、学費相当額を融資することにより修学を援助すること及び災害等緊急時の援助を目的とする。

### II 学資の融資

#### 1. 融資額及び融資総額

融資額は、入学料又は授業料(年額の2分の1)の額とする。  
融資総額は、「学生対策・援助基金」の範囲内とする。

#### 2. 融資の条件

**融資時期** 学生から入学料又は授業料(年額の2分の1)の額の貸し付けの申し出があった場合、次の条件で融資する。

**融資期間** 融資日から2年以内とする。ただし学籍を離れるまでに全額を返済するものとする。

**返済方法** 一括返済又は月割返済とし、月割返済は月4,000円以上とする。

**利子等** 無利息、無担保とする。

原則として、未返済のある者に対しての融資は行わない。

融資を受けた者は、その全額を直ちに名古屋工業大学財務課に入学料又は授業料として納入し、納入後はその旨本会の事務担当者に連絡するものとする。

#### 3. 融資の申請方法

融資の申請方法は別に定める。

#### 4. 融資の審査基準及び審査

融資の審査基準は、独立行政法人 日本学生支援機構の奨学生推薦基準に準じる。その際、次の事項を考慮する。

ア 入学料又は授業料の免除申請者で、その許可が半額免除及び不許可であった者から順次決定する。

イ 本会会員の学生を優先させる。  
具体的審査及びこれに関する事務については、名古屋工業大学事務局次長(本会常任幹事)に一任する。

### III 特別援助

会長は、災害等が発生し、緊急に救助活動が必要と認めるときは、一時立替え、又は支出することができる。

附 則

本運用方針は、昭和54年5月31日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成21年5月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成22年4月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成23年4月1日から適用する。

## 医療援助・見舞金支出基準

(平成20年7月4日総会承認)

名古屋工業大学後援会の予算項目のうち「医療援助・見舞金」の支出については、この基準を適用する。

なお、医療援助・見舞金については、本会会員の学生のみ適用する。

### 1. 医療援助

正課教育及び本学公認の正課外活動中に発生した傷病又は原因がこれに起因すると認められるものについては、次の各号による。

一、同一傷病1件の医療費のうち個人負担の合計額が2万円までの場合

全 額

二、前号の額を超える場合超えた額の2分の1を加算する。ただし、最高5万円までとする。

三、医療援助を受けようとする者は、所定の用紙(医療援助申請書)に所要事項を記入のうえ担当教員等の承認印を受け、これに医療機関が発行する医療費の領収書を添付して、後援会あて申請する。

### 2. 見舞金

事実の認定に基づいて次の各号による。

一、死 亡 香 典 3万円

二、入 院 見舞金 5千円

附 則

この支出基準は、平成9年6月10日から適用する。

附 則(抄)

この支出基準は、平成20年7月4日から適用する。

# 平成28年度後援会定期総会での名古屋工業大学の現状報告

## 1 大学の概要

- ・ 学生数:学部4,121名、大学院1,559名(5月1日現在)
- ・ 学部(第一部)の入学者の出身高校が所在する県は東海3県に集中し、東海・北陸地区で85.7%  
女子学生の割合は17.3%

## 2 本学の教育

「ものづくり」、「ひとづくり」、「未来づくり」を理念に、人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、それに対応できる人材を育成

平成28年4月1日から学部・大学院の6年一貫の教育課程「創造工学教育課程」を新設  
従来型の7学科7専攻を5学科5専攻に再編(詳細はP8、9参照)

## 3 学生支援

- ・ 平成27年度の授業料及び入学料の免除状況と奨学金受給者数
- ・ 学生相談及び学習相談システムについて
- ・ 平成27年度の学生表彰者数  
学長表彰：4団体、個人14名  
副学長表彰：7団体、個人49名

## 4 就職支援

### ○概況

- ・ 博士前期課程への進学率:第一部68.7%,第二部23.8%
- ・ 就職については、学士・修士ともほぼ100%
- ・ 専門知識や社会性を磨き、情報に流されず自分に合った進路を見つけるように指導

### ○本学のキャリア教育

- ・ 就職担当教員を各学科・専攻に設置し、就職・進学相談、就職指導
- ・ キャリアサポートオフィス、就職情報室によるキャリア形成セミナー、就職ガイダンスの実施
- ・ 学内・学外の専門家による就職アドバイス
- ・ 企業側から実習内容と人数の両方に本学卒の設定を受けたジェネラルインターンシップを始め、正課教育によるインターンシップを実施
- ・ 本学学生に対する採用意欲の高い企業を招へいし、キャリア教育の一環として、自ら企業研究を行うことができるように、企業研究セミナーを実施している。平成27年度は3月3日・4日の2日間にわたり吹上ホールで開催され、企業375社、学生延べ1,970名参加

## 5 その他の取組

- ・ 名古屋工業大学基金による各種の奨学金等学生支援
- ・ 課外活動も活発に行なわれており、課外活動団体「ソーラーカー部」がオーストラリアで開催されたWSC(ワールドソーラーカーチャレンジ2015)に初参戦して完走(6日間におよぶレースの結果はクラス16位)

## 6 カルトについての注意

- ・ 不用意に個人情報を知らせることをせず、不安があったり困ったときには、学生なんでも相談窓口へ

## 学部・大学院の改革 [平成28年4月実施]

名古屋工業大学は、明治38年に名古屋高等工業学校として創設されて以来、7万人を超える有意な人材を輩出し、今では工学分野のほとんどをカバーする全国有数の国立工学系単科大学へと成長してまいりました。ものづくり産業の集積地である中京地区に位置する環境にも恵まれ、卒業生は希望する業界業種に進み、高い評価を頂いております。さて、昨今、社会が急速にグローバル化するなかで、社会・産業界からは、わが国の産業技術を支え、革新していく開発・研究人材、世界で活躍できる工学人材、独創的な発想からこれまでにない製品、サービス、システムを作り上げて新産業を創造していくイノベーション人材など、多様な人材を輩出することへの期待が高まっています。一方、名古屋工業大学では、学部学生の70%近くが大学院博士前期課程に進学しています。また、工学分野の広がりから大学院では融合的な分野からなる専攻も生まれています。このような背景のもと、工学系大学には、既存の教育システムを見直し、社会・産業界の要望に応える新たな工学教育モデルを構築していくことが求められています。そこで、名古屋工業大学では、平成28年度より、学部と大学院の教育システムを大きく見直し、学科・専攻編成の刷新と新たな教育課程の導入を実施しました。

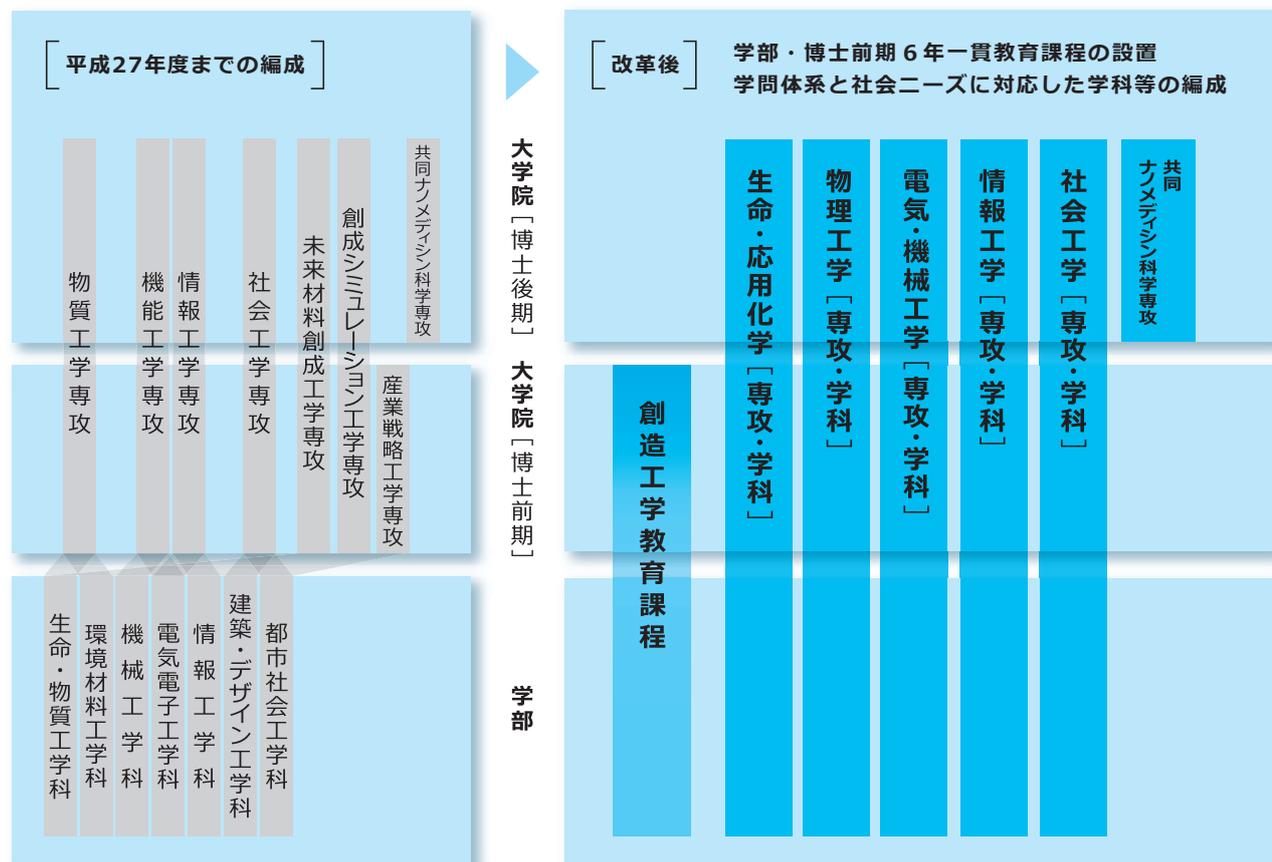
### (1) 学科・専攻の再編成

学部と大学院の接続性を考慮しながら、学問体系に即した5つの学科・専攻に再編成しました。すなわち、化学、物理など基礎となる科学的な原理をベースにした工学分野の教育研究を行う2つの学科（生命・応用化学、物理工学）と、科学技術によって産業や社会のための価値創出をめざす3つの学科（電気・機械工学科、情報工学科、社会工学科）です。

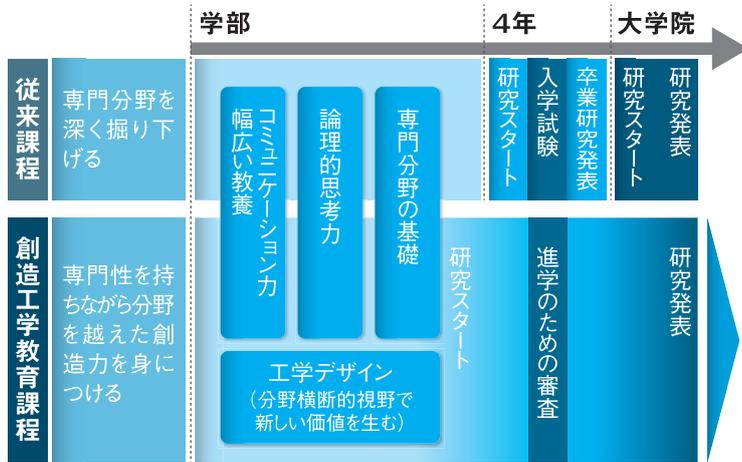
### (2) 産業界の要望する人材像に対応する新教育課程の導入

科学技術の専門性を基礎から展開、応用へと積み重ねていく従来型のカリキュラムフローを継承する『高度工学教育課程』（5学科5専攻）に併設する形で、専門的な軸足を築きながらも、幅広い分野からの俯瞰的な視点と多様な価値観で技術に新たな価値を生み出すことができる人材を育成する『創造工学教育課程』を新たに設置しました。

## 社会・産業界の要望に応える教育システム改革



## 学部・大学院の6年一貫教育課程（創造工学教育課程）の設置



新たに設置した『創造工学教育課程』では、大学入学時から大学院に進学することを想定して、学部4年間と大学院博士前期課程2年間を接続した6年一貫のカリキュラムによって構成されています。文化や社会の発展のグローバルな理解と高い倫理性、創造性と独創性を有し技術の価値化に貢献できる高い能力、広い視野と社会ニーズへの関心から技術を見出し、産業の革新をも展望できる能力など、産業界が求める能力を有する人材の育成をめざしています。『創造工学教育課程』では、専門的な知識・技能は学科ごとの専門分野で学びながら、学科の枠を超えたクラス編成で工学全体を俯瞰するカリキュラム（様々な分野の研究室ローテーション、工学デザイン教育科目群など）、海外を含む長期研究型インターンシップなど、6年一貫だからこそ可能となる総合的なカリキュラム構成により教育効果を最大限発揮できる教育を行っています。

（6年一貫教育は現行制度の中で実施します。）

## 学部、大学院の専門分野

### 生命・応用化学科・専攻

#### 理工工学科・専攻

生命・応用化学科・専攻および理工工学科・専攻は、世界トップレベルの研究実績を有する化学、材料科学において、その基礎となる化学と物理の学問分野を重視した教育研究を行う学科・専攻です。

### 電気・機械工学科・専攻

電気・機械工学科・専攻の設置は、ものづくり産業界からの要請を踏まえ、本学の基幹学科である電気・電子工学分野と機械工学分野を融合し強化するものです。

### 情報工学科・専攻

情報工学科・専攻は、社会と産業のIT化への要求に応え、高度なソフトウェア技術、知能化技術、人と機械を親和させる技術を開発し、他の幅広い工学分野と連携して社会を変革するため、情報工学分野を強化するものです。

### 社会工学科・専攻

社会工学科・専攻においては、本学設置とともに存続し、長い歴史を有する建築学、土木工学と、国立大学の中でも2校しかない経営工学の分野を融合し強化するものです。

## 工学の多くの分野を網羅している専門教育体系



なお、名古屋市立大学と共同で設置した薬学と工学の融合をめざす共同ナノメディシン科学専攻は、引き続いて博士後期課程に置きます。

## 後援会による各種支援事業の報告

### 1. 学生表彰支援

名古屋工業大学では、優秀な学生を表彰する「学生表彰」を実施しており、後援会が支援を行っています。後援会が支援を行っているのは、課外活動における成績優秀者及び名古屋工業大学の名声を高めた学生表彰への支援です。

平成27年度学生表彰では、学長表彰として、課外活動以外で特に顕著な実績を上げた個人3名と1団体、課外活動においては、全国大会で入賞した1名と3団体に、また、副学長表彰として、課外活動の地区大会等で優勝または準優勝した9名と7団体に図書券を贈りました。



### 2. 就職・キャリア形成支援

後援会では本学学生の就職及びキャリア形成支援のため、TOEIC受験料援助を行っており、平成27年度は延べ1,675名の支援を行いました。大学院入試の英語試験として使用されており、就職活動でも利用されています。

この他、学生向け、保護者向けに各種セミナーを実施しています。

### 3. 課外活動支援

後援会では、課外活動への援助を行っています。大会の参加費や交通費の一部援助、学外で練習を行う必要のある課外活動団体への経費の一部援助等です。

### 4. 医療費援助

後援会では、正規の授業や課外活動中に傷害を負った学生に対する支援を行っています。

## 平成28年度 後援会主催 各種セミナー

### ■学生向け

#### 1. TOEIC 直前対策セミナー

日時・場所：平成 28 年 12 月 3 日 (土) 9:00 ~ 12:00 1121 講義室  
平成 29 年 2 月 18 日 (土) 9:00 ~ 12:00 0212 講義室  
内 容：公開 TOEIC 日程に合わせた 1 回 3 時間完結型の直前対策セミナー  
定 員：各回 20 名

#### 2. TOEIC 短期集中講座 (全3回)

日時・場所：第1回 平成 29 年 1 月 12 日 (木) 16:20 ~ 17:50 5218 講義室  
第2回 平成 29 年 1 月 19 日 (木) 16:20 ~ 17:50 5218 講義室  
第3回 平成 29 年 1 月 26 日 (水) 16:20 ~ 17:50 5215 講義室  
内 容：1 回 90 分を 3 週連続で行う公開 TOEIC 受験者向けの短期集中講座  
定 員：20 名 (1 ~ 3 回連続受講)

#### 3. 英語学習法セミナー

日 時：平成 28 年 12 月 22 日 (木) 16:30 ~ 18:00  
場 所：2312 講義室  
内 容：理系出身講師による、理系学生のための英語学習法セミナー  
ワークを交えながら、効果的な英語学習法を分かりやすく解説  
講 師：鹿野 晴夫 氏  
定 員：150 名

#### 4. ES・自己PR・小論文セミナー (全3回)

日 時：第1回 平成 29 年 1 月 17 日 (火) 16:20 ~ 17:50  
第2回 平成 29 年 1 月 24 日 (火) 16:20 ~ 17:50  
第3回 平成 29 年 1 月 31 日 (火) 16:20 ~ 17:50  
場 所：5218 講義室  
内 容：公務員志望者向けの小論文対策  
エントリーシートや自己PRを簡潔に書くコツをきっちり学ぶ、90分を3週連続で行う短期集中セミナー  
定 員：20 名 (1 ~ 3 回連続受講)

#### 5. 就活基礎マナーセミナー

日 時：平成 29 年 2 月 3 日 (金) 16:20 ~ 17:50  
場 所：5218 講義室  
内 容：企業訪問時のあいさつやメールの書き方、書類の受け渡しなど、社会人に必要な基礎的マナーを実践的に学ぶ  
定 員：20 名

### ■保護者向け

#### 保護者のための就職セミナー

日 時：第1回 平成 28 年 12 月 3 日 (土) 10:00 ~ 12:00  
第2回 平成 28 年 12 月 4 日 (日) 10:00 ~ 12:00  
第3回 平成 29 年 2 月 3 日 (金) 16:30 ~ 18:30  
場 所：4号館 1階ホール  
内 容：就職を取り巻く環境変化と支援の在り方について  
名古屋工業大学の就職状況と大学の支援体制について  
講 師：(株)リクルートキャリア リクナビ編集長 大家 純一 氏  
山下キャリアサポートオフィス長  
定 員：各回とも 200 名



## 第 54 回工大祭の報告

第 54 回工大祭開催にあたり、名古屋工業大学後援会の皆様方には、本年も多大な御支援を賜りましたことを、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

今年の工大祭は 54 回目を迎え、11 月 19 日（土）・20 日（日）に行いました。近年、名工大内に加え、鶴舞公園も会場として行っておりましたが、今年の工大祭では名工大内と名工大キャンパス間道路を会場としました。1 日目は雨天でしたが、両日とも大変盛り上がり、会場内はお客様の笑顔であふれておりました。さらに、土日開催ということもあり、幅広い年代の方々にお越しいただきました。小さな子どもを連れのお父さん、お母さんなど、家族でいらっしゃる方々が多く大変微笑ましくありました。また、今年の工大祭も名工大生に呼びかけを積極的に行いました。そのため課外活動団体の模擬等の企画数を増やすことができ、大勢の名工大生に参加していただきました。今後も“名工大生自らつくり上げる工大祭”を目指し、より一層努力致します。

今年も工大祭の他に、吹上小学校のトワイライトスクールに参加したり、名工大合唱団、管弦楽団の方々と協力して名古屋大学附属病院にてコンサート企画を行ったりして、地域の方にも御理解していただけるように工大祭実行委員一同努力して参りました。また、毎月第 3 日曜日には大学周辺のごみ拾いを行っているのに加えて、工大祭で使わせていただいている鶴舞公園内のごみ拾いも同時に行っており、さらに地域の方と親密な関係を築けるよう日々取り組んでおります。

後援会から御支援いただきました援助金は、この度行われました第 54 回工大祭をより良いものとするために有意義に使わせていただきました。今後とも工大祭への御支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

名古屋工業大学第 54 回工大祭実行委員会委員長 桑野 康司



## 学生生活課奨学支援係から

奨学支援係では、主として各種奨学金・授業料免除に関する業務を行っています。

奨学金に関しては、日本学生支援機構が実施する貸与型奨学金が人数的には最も利用者の多い奨学金となっています。

原則的に奨学金は「学生本人が希望し、申し込むもの」です。未成年である新入生が申請する際など、ご家庭の方がほぼ申請内容を決めてしまうのも無理からぬ場合もありますが、将来卒業・修了後に返還するのは学生自身です。極論すれば、本人に返還する自覚が不確かなまま「学生名義の教育ローンとして利用する」のは、本人の将来のことを考えた場合、必ずしも良いことではありません。現在奨学金を利用されているご家庭や、これからの利用を検討されているご家庭は、本人の意思と認識を今一度ご確認くださいと思います。

この他に、様々な財団・自治体等が実施する奨学金もあります。特に、いくつかの財団が実施する奨学金は返還の必要がない給与制であり、経済的には非常に有利な条件のものがありますが、その分採用数は各財団数名程度に限られています。

また、もう一つの主要な業務である授業料免除については、時折「このような事情があるが、申請できるか」といったご相談をいただきます。免除の判定については当年度の予算やその学期の申請者数等により変動しますので、「どの程度であれば免除される」という具体的なお答えをすることはできませんが、平成27年度後期の場合では500名程の学生が授業料の全額または半額免除を受けており、決してごく特別な場合しか認められない、というものではありません。理由によらず授業料の支払いに経済的な困難を覚えておられる場合は、制度の利用を積極的にご検討ください。

その他の業務として、保険関係・アルバイト紹介などを行っています。

本学では、入学から卒業まで安心して学生生活を送ることができるよう、「学生教育研究災害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」制度を導入しています。

この保険は、大学の教育・研究活動に沿った補償制度であり、学生は全員加入することになっています。事故発生の際は、速やかに学生センター6番窓口へ届出てください。発生時の連絡が遅れると、保険金を請求できないことがあります。補償の対象になるか迷った際も、まずは6番窓口にご相談ください。

学生生活課

### 名工大公式サイト 「経済的支援」のページが 新しくなりました

公式サイトが更新され、「経済的支援」のページに

・「奨学金・授業料免除申請受付状況」  
が追加されました。

このページでは最新の募集情報などを随時提供しますので、奨学金や  
授業料免除制度の利用を考えている方は是非活用してください。

○「経済的支援」ページ

<http://www.nitech.ac.jp/campus/support/index.html>

○「奨学金・授業料免除申請受付状況」ページ

<http://www.nitech.ac.jp/campus/support/joukyo.html>



募集情報を随時提供  
するので、チェック  
してね!!

## 平成27年度卒業・修了者に関する進路(進学・就職)状況

## 1 概要

出身区分		卒業・修了者	進学者	就職者	就職者のうち 現職者(内数)	帰国・その他
工学部	第一部(4年制)	974名	669名	276名	0名	29名
	第二部(5年制)	21名	5名	12名	2名	4名
大学院 工学研究科	博士前期課程(2年制)	632名	19名	607名	12名	11名
	博士後期課程(3年制)	47名	0名	39名	14名	8名
合計		1,674名	693名	934名	28名	52名

※1 大学院工学研究科における早期修了者(産業戦略工学専攻短期在学コース)を含む。

※2 博士前期課程の進路状況は、社会人ドクター(進学者にも就職者にも含まれる)5名を含む。

## 2 進学状況

## (1)進学率

出身区分		卒業・修了者	進学者	進学率
工学部	第一部	974名	669名	68.7%
	第二部	21名	5名	23.8%
大学院工学研究科(博士前期課程)		632名	19名	3.0%

## (2)進学先

進学先	出身	学部		大学院	計	進学先	出身	学部		大学院	計
		第一部	第二部	博士前期				第一部	第二部	博士前期	
名古屋工業大学		636名	4名	* 18名	658名	奈良先端科学技術大学院大学		2名			2名
名古屋大学		15名		1名	16名	慶応義塾大学		1名			1名
東京工業大学		4名			4名	総合研究大学院大学		1名	1名		2名
大阪大学		3名			3名	東北大学		1名			1名
京都大学		3名			3名	計		669名	5名	19名	693名
東京大学		3名			3名						

※ 学部の進学先は大学院博士前期(修士)課程、大学院博士前期課程の進学先は大学院博士後期課程とする。

## 3 就職状況

## (1)就職率

出身区分		求職者	求人倍率	就職者	就職率
工学部	第一部	280名	26.4倍	276名	98.6%
	第二部	13名		12名	92.3%
大学院 工学研究科	博士前期課程	610名	9.8倍	607名	99.5%
	博士後期課程	41名	—	39名	95.1%

※ 就職者は、正規雇用者のみ。

## (2)主な就職先〔職場復帰者を除く〕

就職先	出身 学部		大学院		計	就職先	出身 学部		大学院		計
	第一部	第二部	博士前期	博士後期			第一部	第二部	博士前期	博士後期	
◆産業界 (以下内訳 3名以上)	246	11	583	20	860	鹿 島 建 設	2		1		3
トヨタ自動車	5		23		28	関 西 電 力	1		2		3
アイシン精機	5		19		24	建設技術研究所	1		1	1	3
アイシン・エイ・ダブリュ	8		14		22	小 系 製 作 所	2		1		3
デ ン ソ ー			20	1	21	C K D	2		1		3
ブラザー工業			19		19	ジュエール東海情報システム			3		3
中 部 電 力	3		10		13	住 友 理 工	2		1		3
三 菱 電 機			13		13	シーガルメディアソリューションズ	2		1		3
豊田自動織機			12		12	大 豊 工 業	1		2		3
マ キ タ	3		8		11	デンソーウェーブ	1		2		3
川崎重工業	1		8		9	東海旅客鉄道	2		1		3
東海理化電機製作所	1		7		8	東 邦 ガ ス			3		3
日本特殊陶業	1		6	1	8	日 東 電 工		1	2		3
ヤマザキマザック	5		3		8	日 本 電 産	2		1		3
ヤマハ発動機	2		6		8	ノリタケカンパニーリミテド			2	1	3
新日鐵住金			7		7	富士通システムズ・ウエスト			3		3
住友電装	5		2		7	フ タ バ 産 業	1		2		3
三菱自動車工業			7		7	平 成 建 設	1		2		3
リンナイ	2	1	4		7	メイテツコム	3				3
大 林 組	3		3		6	ローランドディー・ジー	1		2		3
スズキ			6		6	そ の 他	130	8	248	12	398
大成建設	3		3		6	◆教育機関・研究機関(以下内訳)	2		8	18	28
ニッセイ	5		1		6	名古屋工業大学			3	5	8
日本システム開発	3	1	2		6	カブール大学			2		2
日立製作所	1		4	1	6	大 阪 大 学				1	1
愛知製鋼	1		4		5	お茶の水女子大学				1	1
アドヴィックス			5		5	河 海 大 学				1	1
ジェイテクト	3		2		5	京 都 大 学				1	1
東 芝			2	3	5	ダナン工科大学				1	1
パナソニック			5		5	筑 波 大 学				1	1
富士機械製造	3		2		5	名古屋学芸大学				1	1
富士重工業	2		3		5	物質・材料研究機構				1	1
三菱電機エレクトロニクスソフトウェア	2		3		5	そ の 他	2		3	5	10
アイカ工業	1		3		4	◆官公庁(以下内訳)	22	1	16		39
N T N			4		4	愛 知 県	3		6		9
エヌ・ティ・ティ・データ	2		2		4	名 古 屋 市	4	1	2		7
オ ー ク マ			4		4	豊 田 市	2		1		3
J S R			4		4	一 宮 市	1		1		2
清水建設	2		2		4	岐 阜 県	2				2
大同メタル工業	2		2		4	滋 賀 県			2		2
竹中工務店	1		3		4	豊 橋 市	2				2
中電シーティーアイ	1		3		4	防衛省地方防衛局	2				2
デンソーテクノ			4		4	蒲 郡 市	1				1
豊田合成	1		3		4	幸 田 町	1				1
トヨタコミュニケーションシステム			4		4	神 戸 市	1				1
トヨタ車体	3		1		4	国 土 交 通 省	1				1
トヨタ紡織	1		3		4	静 岡 県			1		1
中日本高速道路			4		4	総 務 省			1		1
日本ガイシ			4		4	総務省東海総合通信局	1				1
パ ッ フ ァ ロ ー	2		2		4	東 海 市			1		1
パナソニック エコシステムズ			4		4	東 京 都			1		1
浜松ホトニクス			4		4	山 梨 県	1				1
パ ロ マ	2		2		4	◆非営利法人(以下内訳)	1			1	2
本田技研工業	2		2		4	愛知県経済農業協同組合連合会	1				1
村田製作所	1		3		4	あいち産業振興機構				1	1
ア ス モ	2		1		3	◆その他	5				5
I S O W A	2		1		3	計	276	12	607	39	934

※ 産業界は、同人数の社名は五十音順とする。官公庁は、教育・研究機関を除く。

## 平成 28 年度 就職・キャリア形成事業

就職・キャリア支援事業については、工学教育総合センターキャリアサポートオフィスと学生生活課とが連携し、学生自身が納得できる進路決定の一助となるよう、就職相談の実施、企業研究セミナー等就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催、インターンシップ事業、「求人システム」による求人情報の提供等、就職・キャリア形成事業の充実を図っています。

### ●キャリア形成ガイダンス

開催日	時間	内 容	場 所
4月13日(水)	15:00～16:30	リクナビ講演 就職活動キックオフ 講師：(株)リクルートキャリア リクナビ元編集長 平澤 義博氏	51号館 5111 講義室
4月20日(水)	15:00～16:30	キャリア形成ガイダンス① 名工大の就活について 講師：キャリアサポートオフィス 他	51号館 5111 講義室
5月11日(水)	15:00～16:30	キャリア形成ガイダンス② リーディングカンパニーが語る未来社会 講師：キャリアサポートオフィス、マイナビ	52号館 5212 講義室

### ●インターンシップガイダンス

開催日	時間	内 容	場 所
4月27日(水)	15:00～16:30	インターンシップ説明会① 本学ジェネラルインターンシップ他、東海地域インターンシップ推進協議会のご案内 講師：キャリアサポートオフィス 他	52号館 5212 講義室
6月8日(水)	15:00～19:20	インターンシップ報告会及び説明会② 15:00～先輩からのインターンシップ体験談 16:30～有力企業からのインターンシップ説明会 講師：キャリアサポートオフィス、マイナビ	51号館 5111 講義室
6月15日(水)	15:00～19:00	インターンシップ説明会③ 有力企業からのインターンシップ説明会 講師：キャリアサポートオフィス、リクナビ	51号館 5111 講義室
6月22日(水)	15:00～16:30	インターンシップ事前ガイダンス インターンシップの心構え 講師：キャリアサポートオフィス、リクナビ	51号館 5111 講義室

\*主としてインターンシップ希望者及び派遣者対象

### ●企業研究セミナー

企業研究セミナーは、本学の強固で安定した就職ネットワークを活かして、本学学生に対する採用意欲の高い企業を招へいし、本学のキャリア教育の一環として、本学学生に企業研究の機会を提供することを目的としています。

開催日	時間	内 容	場 所
3月6日(月) 3月7日(火)	10:00～17:00	企業研究セミナー 本学で実施する合同企業説明会。昨年度は約380社が出席。 3月以外にも5月と9月に学内にて同様のセミナーを実施する予定です。	吹上ホール

\*主として第一部3年、第二部4年、博士前期課程1年、博士後期課程2年対象

## ●就職ガイダンス

開催日	時間	内容	場所
10月5日(水)	15:00～16:30	リクナビ講演 充実した就職活動を～自分探し・企業探しに役立つ「フレーム」をお伝えします～ 講師：リクナビ編集長 大家純一氏	51号館 5111 講義室
10月12日(水)	15:00～16:30	就職ガイダンス 名工大の就活について 講師：山下キャリアサポートオフィス長、就職相談員	51号館 5111 講義室
10月19日(水)	16:00～17:30	日経新聞 就活生が知っておくべき経済基礎講座 講師：日経メディアプロモーション 増田勝則氏、須原 敦氏	51号館 5111 講義室
11月2日(水)	15:00～16:30	研究開発希望者必見！大手メーカー技術 TOP が伝える名工大生に求めるスキル「顧客目線からの研究開発」～なくてはならない価値の生み出し方～ 講師：日東電機(株) 情報機能材料事業部門 情報機能材料事業部 R&D 統括部長 杉野洋一郎氏	51号館 5111 講義室
11月9日(水)	15:00～16:30	学情ナビ講演 ～50社の「人事のホンネ」でわかった！～理系学生、差がつくポイント 講師：朝日学情ナビ編集長 木之本 敬介氏	51号館 5111 講義室
11月16日(水)	15:00～16:30	リクナビ講演 キャリアを考えるために大事な視点～企業が理系学生に求めているもの～ 講師：(株)リクルートキャリア 就職ジャーナル編集長 大黒光一氏	51号館 5111 講義室
11月30日(水)	15:00～16:30	就活準備① 自己分析対策 講師：就職相談員	51号館 5111 講義室
	17:00～19:35	就活生×内定者カンファレンス 主催：名工大就活・キャリアサポーター	大学会館
12月7日(水)	15:00～16:30	名工大OBトップセミナー 講師：トヨタT&S建設社長 小山裕康氏、日本ガイシ執行役員 井上昌信氏	NI Tech Hall (講堂)
12月14日(水)	15:00～18:20	LIVE VOICE ① 名工大OB・OGによるパネルディスカッション&企業研究会 企業紹介プレゼン、各ブースに分かれて個別企業研究会	51号館 5111 講義室
12月21日(水)	15:00～18:20	LIVE VOICE ② 名工大OB・OGによるパネルディスカッション&企業研究会 企業紹介プレゼン、各ブースに分かれて個別企業研究会	52号館 5211 講義室
1月18日(水)	15:00～16:30	就活準備② 書類対策講座 講師：就職相談員	51号館 5111 講義室
1月20日(金)	15:00～16:30 16:50～18:20	女性技術者交流会(2部構成) 主催：名工大女子学生団体 彩綾～SAYA～	23号館 2341 講義室
1月25日(水)	15:00～16:30	就活準備③ 面接対策講座 講師：就職相談員	51号館 5111 講義室
1月27日(金)	16:00～19:15	就活生×OB・OGカンファレンス 主催：名工大就活・キャリアサポーター	大学会館
2月1日(水)	15:00～16:30	マナー講座 就活における外見力についてのセミナー(スーツの着こなし、魅せ方) 講師：はるやま商事(株)	51号館 5111 講義室
2月15日(水)	15:00～16:30	企業研究セミナー事前ガイダンス 講師：山下キャリアサポートオフィス長、(株)ディスコ	51号館 5111 講義室

\*主として第一部3年、第二部4年、博士前期課程1年、博士後期課程2年対象

## 【学生生活課 就職・キャリア支援係から】

就職・キャリア支援係は学生生活課に所属し、19号館1階学生センター(10番窓口)にあり、就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催や就職相談をはじめとする各種就職支援、インターンシップ事業、進路状況の把握等の業務を行っています。

## 1. 就職相談

専属の就職相談員及び学外の相談員(繁忙期のみ)を配置し、学生センター2階の就職相談室で実施しています。

## 2. その他の就職支援

自由応募に関する求人情報(求人票・会社説明会案内等)の閲覧、就職に関する図書の閲覧及び貸出(図書館)を行っています。

自由応募に関する求人情報は「大学求人票閲覧システム」により学生ポータルサイトから閲覧可能です。

各種就職支援についての通知は、メールや掲示板で行っています。

# 名古屋工業大学後援会のご案内

## 1 概要

本後援会は名古屋工業大学の全学科・全専攻にわたる唯一の家族による支援組織であり、在学者の父母等(保護者)を会員としています。当会は1961年(昭和36年)から現在の形になり、名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助することを目的とし、精力的に活動しています。本会の幅広い学生援助事業は、名工大の教育に対して大きく貢献しており、その実績は学内外から高く評価されています。これらの活動に必要な運営資金は、在学者のご家族からの会費(入会時1回のみ)によって賄われています。

## 2 主な活動内容

- 就職・キャリア形成活動への支援
- 課外活動への支援
- 工大祭等学生行事への支援
- 課外活動での成績優秀者又は大学の名声を高めた学生表彰への支援
- 入学料又は授業料免除不許可者への融資
- 遠隔地での事故救助費の援助
- 正課教育・課外活動中の疾病の医療費補助
- 見舞金の給付
- 会誌「後援会だより」の刊行
- 役員会・定期総会の開催

※会誌や、定期総会等の通知は、学生が入学後登録する父母等氏名や父母等住所を活用します。

## 3 入会の手続き

これらの活動に必要な運営資金は、在学者の父母等(保護者)からの会費によって賄われています。会費は、入学時一回限りです。未加入の方はいつでも加入を受付けておりますので、是非ご加入いただきますようお願い申し上げます。入会手続きは以下のとおりです。

### 【手続方法】

・ゆうちょ銀行(郵便局)から「学科・課程・専攻名・学生番号・学生氏名、父又は母の住所・氏名・電話番号」を明記のうえ、会費をお振込みください。

### 【振込口座】

- ・郵便振替口座記号番号:00840-8-37095
- ・口座名義:名古屋工業大学後援会

### 【会費(入会・進学時各1回のみ)】

- ・学部 14,000円(第3年次編入学者 7,000円)
- ・博士前期 5,000円(学部からの進学者も加入が必要)
- ・博士後期 5,000円(博士前期時に加入した方は不要。ただし、在籍期間が連続している場合に限る)

## 4 お問い合わせ

名古屋工業大学後援会(名古屋工業大学19号館 学生センター6番窓口内)にお問い合わせください。

住 所:466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町  
電話番号:052-735-5553 FAX 052-735-5080